

世界中の人々に移動を通じた
「Happiness」をお届けするために、
日野ならではの新たな価値創造で
社会課題の解決に挑み続けます。



代表取締役社長
最高経営責任者

下 義 生

1. 日野自動車の実現したい社会

現在、CO₂排出による地球温暖化やドライバー不足による物流危機など、多くの社会課題が顕在化し、人流・物流を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。また2019年度末から新型コロナウイルスが世界的に流行し、人や物の移動が制限される中、社会のライフラインである人流・物流を支えるトラック・バスの重要性が再認識されています。日野自動車はトラック・バスの専門メーカーとして強い使命感を持ち、お客様が抱える課題と一緒に解決し、お客様の事業を継続的に支えることで、社会インフラである輸送を支え続けてまいります。

日野自動車がお客様・社会の課題解決を行う会社への事業構造変革を目指し、世界中のお客様に向け方針・戦略を示したのが、2018年に公表した『Challenge2025』[詳しくは P.12](#) です。

『Challenge2025』では、顕在化している社会課題に対して、「もっと、はたらくトラック・バス」というスローガンのもと、「安全・環境技術を追求めた最適商品」、「最高にカスタマイズされたトータルサポート」、「新たな領域へのチャレンジ」という3つの方向性の取り組みを進めています。

日野自動車はトラック・バスをもっと社会のためにはたらく存在にして、自由に安全に効率的に、人と物が移動する「豊かで住みよい持続可能な社会」を実現していきます。

2. 豊かで住みよい社会の実現に向けて

『Challenge2025』の「3つの方向性」の取り組みを通じたお客様・社会への価値提供として、「安全・環境技術を追求めた最適商品」

[詳しくは P.16](#)では、事故の被害が大きくなりやすいトラック、多くの命を預かるバスの専門メーカーとして、安全は最優先で取り組むべきことと考えています。2018年に商用車として世界初の「ドライバー異常時対応システム (EDSS)」を大型観

光バス「日野セレガ」に搭載するなど、新世代の優れた安全技術を積極的に標準装備にし、より早く、広く世の中に提供していきます。

また環境面でも、近年頻発している異常気象の原因と想定されるCO₂排出量削減に継続的に取り組んでいきます。『日野環境チャレンジ2050』にて掲げた環境負荷の最小化に向けた活動の一つとして、各地域で最適な様々なパートナーと協業し、電動車の開発を加速させています。今年発表した北米向けの「プロジェクトZ」を始めとし、2025年までに本格的な電動車を市場投入していく予定です。

「最高にカスタマイズされたトータルサポート」[詳しくは P.18](#) においては、お客様のビジネスが持続的に発展するために私たちができるサポートを考えていきます。ICTサービス「HINO CONNECT」でお客様の車両一台一台と繋がる活動の深化に加え、クルマのご提供からリセールまでの周辺ビジネスを強化し、日野自動車がお客様と繋がり続けるOne to Oneのサポートをご提供し、お客様のビジネスを継続的に支えることを目指します。

「新たな領域へのチャレンジ」[詳しくは P.20](#) では、お客様が抱える課題解決のために、お客様の現場と一緒に入り込むと共に、DXで様々なお客様に頂いたデータから人流・物流の情報プラットフォームを構築し、真の困りごとを発掘してCASE技術を活用した日野自動車ならではの価値をご提供していきます。

日野自動車だけの力では限界があることも、仲間と一緒になれば実現する可能性が高まるはずで。これまでトヨタグループでの連携強化に加え、戦略的パートナーシップを結んだTRATON GROUPやBYDなどの同業他社、また異分野の企業との協業を推進してきました。今後も志を同じくする仲間づくりを進め、お客様の課題解決を加速し、持続可能な社会の実現へ貢献していきます。

3. サステナブルな社会へのChallenge

将来に亘り、住み続けられる地球環境やあらゆる人々が豊かな生活を送り続けるサステナブルな社会

は、だれもが等しく求める姿であり、あらゆる企業が意識すべき時代のキーワードです。日野自動車は90を超える国・地域に事業を展開するグローバル企業として、各地域のステークホルダーが抱える課題と真摯に向き合い、必要とされ続ける存在であり続けたいと考えています。サステナブルな社会を目指すSDGsと、日野自動車が使命とする「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」という事業活動は同じ方向を向いています。

日野自動車はコロナ禍の厳しい環境下においても世界中の輸送を支える為、従業員、従業員の家族、そして地域の皆さまの安全と健康を守るとともに、最前線で奮闘されているお客様の支援活動を推進しています。世界が急速にニューノーマル(新常態)へと転換する環境に素早く対応し、テレワークなどを含めた働き方改革による業務効率化や適切な生産・販売の維持、投資の見直し、固定費削減等の企業体質の抜本的改革を推進し、環境変動に強く持続的成長が可能な事業構造への変革を一層加速させていきます。その上で自社でこだわり価値提供することと、パートナーと共により早く・広く価値提供することの「選択と集中」を行い、業務効率化で創出したリソースを大胆にシフトして、一日も早くお客様「ごと」の課題解決に事業の軸足を移します。これからも私たちはお客様・社会に価値を提供し続け、お客様から真のビジネスパートナーとして認めていただき、持続的に人、そして物の移動を支え続けていきます。

「全ての人に移動を通して幸せになっていただきたい」との思いを込め、19年の東京モーターショーで発表した「Transporting Every Happiness」。その実現に向け、日野自動車のメンバー一人ひとりは、これからも常にお客様の立場で考え、「チーム日野」一丸となって社会課題の解決に挑み続けます。